

平成 25 年 10 月 24 日

政 務 調 査 報 告 書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員 八木橋 義則 

このたび、政務調査のため出張しましたので次のとおり報告します。

日 時	平成 25 年 10 月 17 日 13:40 ~ 15:30
視 察 先	京 極 町
調査事項	給食センター業務委託(受託方式)
対 応 者	京極町教育委員会 学務課長 教 長 高橋武志、原田圭子
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	京極町学校給食センターは昭和46年に建設されて以来 築33年が経過していることと併せて人口減少と少子高齢化が 急速に進んでいた為平成15年度に京極町が先陣を切って 近隣町村に働きかけ、ニセコ町、留寿都村、喜茂別町、 倶知安町、京極町の4町1村による検討委員会を開いて いたが、ニセコ町と倶知安町が離脱し、2町1村で協 議を進めていたが留寿都村が協議から平成22年5月に 離脱した為、喜茂別町と京極町の2町で協議を進めた。 京極町学校給食センター建設工事概要 ・延床面積 633.25㎡ (627.84㎡+5.41㎡) ・工事期間 24年7月6日～25年3月15日 ・構 造 鉄筋コンクリート造平屋建て ・厨房能力 550食対応 調理方式:ドライシステム 熱源方式:オール電化 ・設計・監理 株式会社 創建社 ・施工業社 瀬尾・菊地経常建設共同企業体 ・その他 京極町は喜茂別町より「事務委託」を受ける。 (地方自治法252条の14)

○ 負担割合の算出根拠 (平成25年度学校基本調査)

	児童生徒数	教職員数	計(人)	割 合	小教第1位四捨五入
喜茂別町	136	32	168	36.3	36%
京極町	258	37	295	63.7	64%
合 計	394	69	463	100%	100%

○ 建設事業費等

区 分		事業年度	事業費	計
設計及び監理	基本・実施設計	H23	17,745千円	23,919.4千円
	監理業務	H24	6,174千円	
建設工事	建築主体工事			
	電・機械設備工事	H24	一式	418,950千円
	厨房機器・備品類			
一般財源 予算	一般備品(会議テーブル)	H24	一式	1,132千円
	洗濯機(他)その他			
			総事業費	444,001千円

※ 学校施設環境改善交付金 46,534千円

○ 5社によるフーズパートナー方式で進めた。

○ 給食センター業務委託(受託方式)～給食の指導を教育委員会が

○ 給食費の月額負担は、京極町、喜茂別は同額とした。

(小学生 3800円、中学生 4500円)

○ 負担割合は、生徒数によって毎年度変わる。

○ 公益化について、今後人口減少に伴い必要となると考えている。

追伸、京極町と喜茂別町は隣町であり距離が約10kmと

近く、人間関係も親戚や知人友人、行政、議員の交流的連携が
日常的好意の効果があったのではないかと考えられます。

日 時	平成 25 年 10 月 18 日 9 : 30 ~ 11 : 00
視 察 先	黒松内町
調査事項	農村や自然の環境を活かした地域づくり
対 応 者	黒松内町長、議長、議員 鎌田 満・菅原正久・忠鉢廣喜 寿都町議会議員 山 本 孝 彦 豊浦町議会議員 山 田 秀 人
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	北海道黒松内町が建てた、牛舎に似た家が話題を集めている。JAふくこの管内で酪農が盛んな同町が、農村の景観に溶け込む街づくりを進めようと2010年から取り組んでいることを視察した。 子育て支援低家賃住宅整備事業 1. 白井川地域の現状 黒松内町の第二市街地である白井川地区は、中心に道の駅、役場支所、JR駅、小中学校があり、平成21年には黒松内新道も開通し、インフラが整い、また、白井川小学校では山村留学の受け入れも作っていますが、10年間で2割以上の人口が減少し、地域別人口での世帯人員は1.87人と最も低く、55歳以上の人口も約7割を占めるなど、少子高齢化と過疎化が顕著な地域になっている現状にあります。 2. 事業の目的 子育て世代による定住・移住の促進を図り、地域の活性化を目的としています。また、高気密・高断熱で快適な北方型住宅仕様の住宅整備に地元業者の高い住宅建築のPRと、地元経済への波及効果を目的としています。 3. 入居条件 ・同居しようとする親族に義務教育終了前の子が1人以上いること。 ・就学する学校は白井川小学校・白井川中学校とすること。 ・町内会に加入し、地域行事及び活動に積極的に参加できる者。 ・住宅周辺の景観に配慮できる者。 ・市町村等の滞納していない者。

・その者及びその者と現に同居し、又は同居しようとする親族が暴力団員でないこと。

4. 家賃

・月額 15,000円。

5. 建物の概要・特徴

・構造：木造

・階数：2階建て

・延床面積：96.68㎡

・屋根形状：マンサード型

・北方型住宅仕様（高気密・高断熱）

・屋根形状をマンサード型にすることによって2階部分の面積を有効利用。

・対面キッチン、吹き抜けで、リビングから部屋全体を見渡せる開放感。

6. 補助金

・平成22年度：地域づくり総合交付金

事業費 30,000 千円、補助金 15,000 千円

・平成23年度：地域活性化交付金（きめ細かな交付金）

事業費 33,000 千円、補助金 33,000 千円

・平成24年度：町単独

事業費 17,000 千円

＝子育て支援低家賃住宅政策について学ぶべきものは充分ある＝

入居は義務教育終了前の子供がいる世帯で、地元の小中学校に通うことが条件。人口減少が進む地域に移住者を呼び込むことが目的としています。3LDKの木造2階建て、家賃は月1万5000円。現在は5棟あり、5世帯21人が暮らしております。同町は20年ほど前から、農村や自然の景観を生かした地域づくりに取り組んできておられます。我が栗山町に於いても同じ様なまちづくりを行っております。地方自治においては交付金の関係で活用できるものは人口減少を食い止めるべき施策はあります。今後エコビレッジ湯地の丘に対する対策が急務と考えます。